



弘前大学大学院 保健学研究科 博士前期課程  
放射線看護高度看護実践コース

# 学生募集

本学では、社会人が学びやすいように、講義は平日の夜間と土曜日、集中講義で開講しています。また、多くの科目は、インターネットを活用した遠隔授業が可能で、来学しなくても自宅や職場からリアルタイムで講義を受講することができます。一部の講義ではeラーニングを取り入れており、ご自身の都合に応じて受講することも可能となっております。また、長期履修制度を活用することで、最大4年間の履修期間で学ぶことができます。



所定の単位を修得するとともに、学位論文の審査及び最終試験に合格することにより、「修士(看護学)」の学位を取得できます。なお、本コース修了者には「放射線看護高度実践看護師 (Radiological Nursing Specialist)」の学内称号を付与します。

入試日程は6月以降HP等で公表する予定です。

● 弘前大学大学院保健学研究科 HP  
<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/kouhou/hg/web/daigakuin/>

● お問い合わせ先

野戸 結花 / ☎ 0172-39-5923 ✉ noto@hirosaki-u.ac.jp  
井瀧 千恵子 / ☎ 0172-39-5974 ✉ itakichi@hirosaki-u.ac.jp



# 放射線看護高度看護実践コース

弘前大学大学院保健学研究科では、平成27年度から『放射線看護高度看護実践コース』を開設しております。本コースでは、「被ばく医療における看護支援」及び、「医用放射線利用に伴う看護支援」の2つの領域のうち、いずれかを選択して学習して頂きます。

放射線看護の対象



## 教育目的

放射線被ばくや放射線防護に関する高度な専門知識・技術を基盤とし、施設や地域における個人や集団の放射線被ばく防護対策に従事すると共に、放射線被ばくに関連した複雑な健康問題を持つ個人、家族および集団に対して高度看護実践を行うことのできる人材の育成を目指します。

## 教育目標

1. 放射線被ばくや放射線防護に関する高度な専門知識・技術を活用し、顕在あるいは潜在した放射線の人体影響を有する対象への高度看護実践を行うことができる。
2. 放射線被ばくを最小限にするための的確な臨床判断と管理を行うことができる。
3. 個人や集団が放射線に関する正しい知識を有し、自らの健康を守るための判断と行動ができるように教育・啓発活動及び相談活動ができる。
4. 看護職者に対して、放射線看護に必要な知識及び技術に関する教育・相談活動ができる。
5. 放射線看護に必要な教育・医療システムの調整を行うことができる。
6. 放射線看護に関する倫理的課題に対しの確な判断を行い、解決に向けて支援を行うことができる。
7. 放射線看護に関する専門的知識や技術の向上に資する看護研究を行うことができる。

## 〈放射線看護高度看護実践コース〉カリキュラム

### 放射線看護高度看護実践者

#### 放射線看護学実習

- ・放射線事故、災害における看護
- ・放射線診療（画像診断、核医学診断、IVR等）を受ける対象への看護



- ・緊急被ばく医療シミュレーショントレーニング



#### 専門科目

10単位

放射線看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

4単位

課題研究

14単位

基礎放射線学特論、被ばく医療学特論、放射線医学特論、放射線看護学特論、放射線看護学特別演習、被ばく医療看護論、被ばく医療看護方法論、医用放射線看護方法論

共通科目 14単位

看護教育学特論、看護管理学特論、看護理論、看護研究方法論、コンサルテーション論、看護倫理学特論、フィジカルアセスメント、病態生理学、臨床薬理学

#### 教育支援施設

放射線医学総合研究所

#### 連携

鹿児島大学

長崎大学

弘前大学

#### 支援

日本放射線看護学会